

『魅力ある学校づくり』のために

- 1 取り組むテーマ（目指す学校づくり）
「学力向上をめざした学校づくり」

- 2 テーマ設定の背景、現状等

平成22年度本校は全国学力学習状況調査において県平均を下回る結果でした。また、全国学力学習状況調査のアンケートでは、「家で学校の予習をしていますか」の質問に、約90%がしていないと答え、家で学校の授業の復習をしていますか、の質問には約35%が全くしていないと回答しました。

子どもの学びを深め広げ、「確かな学力」の育成のためには家庭学習は不可欠なものです。そこで今年度、本校では「魅力ある学校づくり推進事業」の学力向上対策特別枠に応募をし、『学習探検ナビ』という、5教科の学習教材プリントを活用して、学力向上に取り組むことにしました。

この実践を進めることで、「やらされる家庭学習」から「進んで取り組む家庭学習」への質の転換を図ると共に、『学び合い』を主体とした授業改善にも取り組み「確かな学力」を育むことを研究していきたいと考えています。

- 3 取り組むテーマの成果指標及び目標

成 果 指 標	① 実力テスト及び定期考査の結果 ② 家庭で学習をする時間 ③ 授業中に集中している生徒の割合
成果指標の目標 (数値目標)	① (現状) 6月実力テスト結果 ⇒12月実力テスト結果 (目標) 2ポイント向上 (現状) 6月前期中間テスト結果 ⇒11月後期中間テスト 3ポイント向上 ② (現状) 4月調査 (平均50分) ⇒11月末調査 (目標) 100分 ③ (現状) 4月調査 65% ⇒12月末調査 (目標) 90%
	(目標の根拠) ○学習探検ナビを用いることにより基礎・基本の向上をめざす。 ○学習探検ナビを用いることにより「進んで取り組む家庭学習」へと質的転換を図り家庭学習の充実を図る。 ○『学び合い』の中で学習探検ナビを用いることにより「授業の改善」を図る。

- 4 事業期間

平成23年 4月 ～ 平成24年 3月

- 5 実施内容

- (1) 協議・検討のための会議等の設置

主な構成等	人員数	開催予定回数
学力向上対策委員会 構成員 (校長、教頭、教務、研究主任、学年主任)	6名	年4回

- (2) 予定している主な調査・研究活動

- 学習探検ナビを用いた「確かな学力」を育むための方策についての研究
- 県学習状況調査及び校内学習状況調査の分析、課題の検討、今後の取組
- 「810大作戦」(午後8時から午後10時までの家庭学習) 定着のためのアンケート調査と分析
- 『学び合い』を取り入れた授業研究会及び意識調査
- ITC利活用支援員の活用

(3) その他、当事業において実施する事項

- 学習探検ナビを活用している小中学校と成果や課題について情報交換し、より充実した取組をめざす。

6 教育事務所、佐賀大学、教育センター等の活用計画

実施時期 (月)	協力要請先 支援要請先	協力要請及び支援要請の内容
5月 10月 2月	杵西教育事務所 佐賀大学	年間計画と学習探検ナビの有効活用について 中間検討会 最終報告会
6月 9月	杵西教育事務所 "	授業研究会 (講師招聘) " (講師招聘)
8月	教育センター	県学習状況調査についての分析と課題について
8月	佐賀大学	佐大生学習ボランティアの活用 (夏季休業中の補充学習)